



広報むらた



決意新たに 大人への第一歩 —平成28年成人式—

今月の主な内容

- **特集**
平成28年成人式 2~5
- **まちの話題**
全国社会福祉協議会長表彰 ほか 6





町からの記念品を受領した
相原 辰吉さん
(小泉中)



司会をつとめた
真壁 諒さん (足立東)
遠藤なつみさん (本町)

平成二十八年

成人式

村田町成人式が一月十日、村田町民体育館で行われました。

晴れて成人の日を迎えられた成人者は、平成七年四月二日から平成八年四月一日までに生まれた町内に住んでの方と村田第一中学校及び村田第二中学校卒業生、百二十七名(男性七十一名・女性五十六名)で艶やかな振り袖やスーツ、羽織袴などに身を包み、久しぶりに会う同級生と再会を喜び合っていました。二十歳の節目に、二名の方が代表して「はたちの主張」を発表しましたのでご紹介します。



三浦 大希さん
(小泉西町)

「壁」は越えられる可能性がある人

やっつこくない壁がある時はチャンスだと思え」恩師である高校の監督さんから、引退したとき、額に入れて頂いた言葉です。私は高校時代、柴田高校硬式野球部に所属し、甲子園を目指していました。そして最後の夏の決勝戦、甲子園まであとアウト四つとところで同点に

され、最後の最後に逆転サヨナラ負け。甲子園への夢が絶たれました。そのとき私たちの前に立ち上がった壁が仙台育英学園でした。ここまでやりきった達成感や充実感はありませんが、日に日に悔しい気持ちが湧いてきて、上のレベルでリベンジして全国でプレーしたいという気持ちが強くなりました。そんなとき声をかけてくださったのが、現在所属している仙台大学の硬式野球部でした。私が入部したその年に全日本大学野球選手権に出場しましたが、その時はベンチに入らず、スタンドで応援していただけでした。部員は百五十人。なかなか一軍に上がることができず、毎日一軍の人たちの練習の補助。自分の練習ができない焦り、周りの応援してくださる方々の期待に応えられない申し訳ない気持ち、本当に四年間の中で全国の舞台でプレーできるのかという不安、ストレスから円形脱毛症になりました。このときは幼馴染や、周りの友人たちにも相談できず、野球なんかまともに出来る状態ではありませんでした。

そんなどん底の中、ふと壁にかけてある恩師の言葉が目に入りました。「壁は越えられる可能性がある人」にしかやっつこくない壁がある時はチャンスだと思え」この言葉を目にしてから、大学入学当初の夢に対するアツい気持ちを思い出し、この言葉の可能性に懸けてみようと思えました。それから、周りの友人ともいろいろ話や相談をして、練習の補助をしている中でも何かしらの意味を見出し、上手くなるヒントを探しながら練習しました。そして、その次の年によくベンチに入ることができ、全日本大学野球選手権に出場しました。試合にも途中から出場させてもらい、高校時代からの夢であった全国の舞台でプレーすることができました。その夢は叶いましたが、それと同時に実際に肌で全国との壁を感じ、今度はその壁を越えられるように恩師の言葉を大切にしながら日々の大学生活と練習に励んでいます。

さて、今現在働いている人や大学に通っている人、様々な人がありますが、人は必ず壁にぶつかります。「壁」それは、困難な状況や場面、対人関係、自然など様々あります。いずれにせよ、その壁は越えられる可能性があるから現れるのです。しかし、必ずしも越えられるとは限りません。あくまで可能性があるということですが、そこで諦めたり、逃げてしまったりはけません。その次には諦めたり、逃げたりした壁よりもっと大きな壁が立ちました。つまり、壁が現れた時にその壁に立ち向かっていけるかどうかなのです。一人で立ち向かうのはとても大変ですが、皆さん、今、周りを見渡してみてください。幼稚園、小学校、中学校と共に過ごしてきた仲間がいます。私たちは一人ではありません。仲間を信じ、勇気を持って前

に進みましよう。

ある医師の研究によると、お年寄りの患者さんたちに「今、人生を振り返って何か思うことはありますか？」と尋ねると、実に九割の方が「あれをやっておけば良かった。」と後悔の言葉を口にしたそうです。逆に「あれをやらなきゃ良かった。」と口にする人は一人もいなかったそうです。やらなかった、逃げてしまったことは最後まで後悔してしまいます。しかし、何かをやったこと、挑戦して壁に立ち向かったことは、たとえ越えられなくても絶対に後悔はしません。最後には必ず人生の財産になるはずです。

そして今日、晴れて新成人となった私たちですが、まだまだ未熟です。一日も早く大人としての自覚を持ち、これまで支えてくださった両親、家族をはじめ、すべての方々への感謝の気持ちを胸に、どんな壁にも立ち向かい、社会に貢献し、そしてそこから社会を引っ張っていきけるような大人になっていくことを誓いして、二十歳の主張とさせていたいただきます。本日は誠に有難うございました。



陸美さん
沼田 沢 半

寒

さ厳し
き折、
玄関の戸を
開けると雪

晴れの青空がまぶしく、まるで私たち新成人の新たな門出を祝している

かのようにです。そしてこの良き日
我が故郷、この村田の地で、百二十
七名の仲間と、共に迎えられたこと
を大変嬉しく思います。

今日まで優しく、時に厳しく育て
てくれた両親、私たちの成長を温
かく見守って下さいました地域の
方々、そしてかくも盛大な式を挙行
して下さいました皆様に新成人を
代表致しまして心より厚く御礼申し
上げます。

本日は佐藤英雄町長を初め、多く
のご来賓の皆様より私たち新成人に
際し、温かいお言葉と多大なお心遣
いを賜り、晴れて皆様と同じ大人の
仲間入りをさせて頂いた喜びを噛み
締めるとともに今後の責任の重さを
ひしひしと痛感しているところで
す。時の流れは早いもので、かつて宮
城県を襲った東日本大震災から、は
や五年が経とうとしています。五年
前の三月十一日、私は中学の卒業式
を終え、共に学んだ仲間たちとこれ
から始まる高校生活に胸を膨らま
せていました。しかし、その日を
境にこれまでの生活が一変したの
です。蛇口をひねれば温かいお湯が出
る、夜に電気が煌々と輝く。それま
で、ごく当たり前のことが、当たり
前でなくなりました。余震におび
えながら家族全員身を寄せ合い、長
い長い一夜を明かしました。そして
これまでの生活がどんなに豊かなも
のであったかを思い知った十五の春
でした。

私は震災を神様に与えられた人生
における一つの試練と考えます。そ
れを乗り越えて思ったこと、それは、
日々変化する社会情勢に柔軟に対応
し、どのようなシチュエーションに
も通用する人間こそ社会に求められ
る理想の人物像ではないかというこ
とです。そこに少しでも近づけられ
るよう、日々自己研鑽に励むことこ
そがいかに重要であるかを自分なり
に考えました。

また時間とは誰もが平等に神様か
ら与えられた最高のプレゼントだ
と私は思います。しかしそれは無限
ではありません。その時間を私利私
欲のまま生きること、高い目標を
掲げ、理想を模索し突き進むことも
できます。これから長い人生、無駄
と分かっているながらも時に寄り道
し、考える時間も必要なのではない
でしょうか。たとえ回り道に思えて
も最終的にこれでよかったと思える
人生と出会えるのならば。

傍から見れば無謀だと思える壁に
も挑戦し、そして失敗しやり直すこ
ともできる、それは時間と共に私た
ち若者に与えられた最大の特権であ
ると思います。

まさに十代後半、これまでは、色
んな自由を謳歌してきましたが、成
人するにあたり「学ぶこと」と「社
会に出ること」の繋がりがどうある
べきか、を自問自答している真っ只
中です。

ここまで私たちに与えられた権利

ばかりを主張しましたが、権利があ
れば、当然義務も発生します。これ
まで私たちを育ててくれたこの社会
に求められる人物となり、奉仕・貢
献していくことがこれからの世の中
の担い手を託された私たち若者に課
せられた義務です。

そして今日この日まで育ててくれ
た両親に感謝し、恩返ししていくこ
とです。一足早く社会に出て貢献し
ている仲間もいることと思いますが、
私自身はまだ学生で親に勉強に勤し
む機会を与えてもらっている身です。
健康で充実した学生生活を送り、学
業と並行しボランティア活動やアル
バイトを通し社会勉強をする。それ
が今の私にできる最大限の恩返しで
す。そしていつか社会に出て生まれ
育ったこの村田町に恩恵を還元して
いくことが今の私の目標です。

ここまで訥弁ではありませんが、自
分なりに大人としてあるべき姿につ
いて述べてさせていただきました。し
かし成人を迎えたばかりでもあり、
人間的にはまだまだ未熟者です。社
会や皆様に必要としていただけの人
間にそう簡単になれるとも思いませ
ん。時には人生の先輩方にアドバイ
スを乞う事も多々あると思います。
その際には是非、叱咤激励の程、よ
ろしくお願い致します。

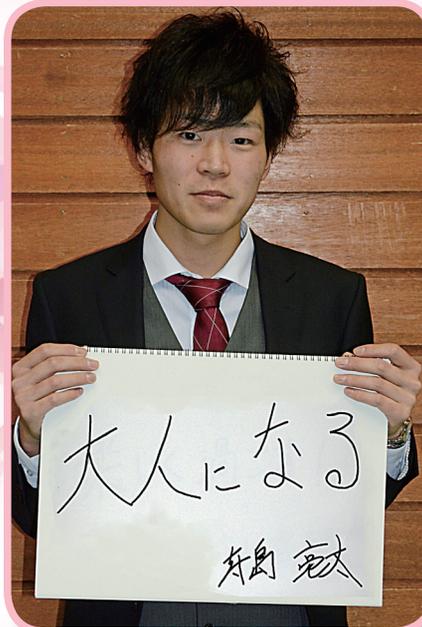
私たち新成人の活躍と村田町のま
すますの発展を願ひまして、これに
て成人の主張とさせていたいただきます。



新成人に聞きました
**はたちの
想い**

新成人に、成人式を迎えるの
抱負や夢、現在の気持ちなどを
自由に書いてもらいました。







全

表彰 国社会福祉協議会長

多年にわたり民生委員・児童委員の職務に精励し、その功績が顕著であるとして、竹野幸子さん（本町）が全国社会福祉協議会長より表彰されました。

竹野さんは、平成七年から現在までの二十年間、民生委員・児童委員として、村田町の地域福祉に大きく寄与されました。



中

学生人権作文コンテスト 大河原地区大会で入賞

十二月五日、大河原町フォールテで開催された「人権フェスティバル」において、第三十五回中学生人権作文コンテスト大河原地区大会の表彰式が行われました。

今回は十八校から千四百九十五編の作品が寄せられ、村田第二中学校二年生、小山かほるさんが優秀賞を受賞し、表彰とあわせて作品の朗読も行われました。

なお、宮城県大会では奨励賞を受賞しました。



▲入賞した小山さん(前列左)

租

税教室 村田小学校

十二月十五日、税の仕組みについて学ぶ「租税教室」が村田小学校で開かれ、六年生の児童たちが税金について学習しました。

公益社団法人仙南法人会女性部会の方が、税金の種類や使われ方などについてクイズを交えて説明したほか、税金のない世界を描いたアニメも視聴し、日常生活のさまざまな所で税金が使われていることを学びました。

児童たちは、たくさんのお金がかかっている学校の机や教科書などをもっと大切に使用してほしいと改めて感じています。



▲税金について真剣に話を聞く児童たち

選

挙出前講座 村田第二小学校

十二月十八日、選挙の大切さを知ってもらうことを目的に「選挙出前講座」が村田第二小学校で開かれ、六年生の児童が選挙について学習しました。

県の選挙管理委員会から選挙や投票の仕組みについて説明があった後に、クラスでの旅行をテーマにした模擬投票を体験。児童たちは行き先や日程、費用を比べながら真剣に投票先を決めていました。また、開票の際、投票用紙を数える計数機についての説明もあり、児童たちは選挙を身近に体験し、選挙の大切さを感じていました。



▲計数機の説明に興味津々の児童たち



第

三回むらたサイエンス クラブを開催しました

十二月十九日、中央公民館を会場に第三回むらたサイエンスクラブを開催しました。

講師に東北福祉大学教授の小石川秀一先生をお迎えし、また同大学生七名に指導補助を頂きました。

LEDの光る色によって電圧が変化するかどうか実験を行いました。また、LEDを使ったクリスマス飾りの創作活動とおして光の性質を学習しました。参加者は、サンタクロースやトナカイなどのクリスマスの装飾を行い、自分だけのクリスマス飾りを一生涯作りました。



▲みんなでにっこり記念写真

参加した子どもたちや保護者にとっても、楽しく学習しながら友達や親子の交流を深める貴重な場となりました。

村

田町ボランティアサークル「マボック」(ジュニア・リーダー)によるマボック発表会(クリスマス会)を開催しました

十二月二十三日、中央公民館を会場に村町ボランティアサークル「マボック」(ジュニア・リーダー)によるマボック発表会(クリスマス会)を開催しました。

演劇では、協力をテーマにジュニア・リーダーが創作した「ロンとメアリの大冒険」を行いました。参加した子どもたちは、ジュニア・リーダーの熱がこもった演技を鑑賞しながら、助け合うことの大切さを実感することができました。

創作活動では、親子でキャンドルづくりを楽しみました。色とりどりのキャンドルがクリスマスの雰囲気を一層高めてくれたことでしょうか。

キャンドル・サービスは、暗闇の会場内に飾られた大きなクリスマスツリーのイルミネーションとキャンドルの火が幻想的な空間を作りだし、あらためて火や灯りの大切さに気付くことができました。



▲ジュニア・リーダーが熱演しました

ジュニア・リーダーによるマボック発表会は、参加者にとって素敵なクリスマスプレゼントとなったようでした。



▲幻想的な雰囲気の中で行いました



▲みんなで楽しく作りました



大

河原地区スポーツ少年団 交流会を開催しました

一月十七日、町民体育館を会場に大河原地区スポーツ少年団交流事業が開催されました。

この事業は、大河原地区スポーツ少年団連絡協議会が主催し、今年度は村田町が会場となりました。

当日は、白石市・角田市・柴田町・川崎町・村田町の各市町から野球やサッカー・バレーなど様々な種目のスポーツ少年団七団・九十一名の団員が参加し、ロープジャンプ大会とレクリエーションが行われました。



ロープジャンプ大会では、十二人一チームで行われ、チーム一丸となり優勝を目指しました。また、スポーツ少年団員同士コミュニケーションを促すジャンプ図るレクリエーションも行われ、他市町との交流も深まった交流事業となりました。

合

同安全祈願式を行いました

新春を迎えた一月六日、町の消防団、交通安全指導隊、防犯実働隊並びに町関係者による合同安全祈願式を白鳥神社で行いました。

三団体の代表者と町関係者は、今年一年間の無火災、無事故、防犯などといった地域の安全を祈願しました。



今年1年間の地域の安全を祈願



平

成二十八年 新春顔合わせ会を開催しました

一月六日、町主催の新春顔合わせ会を中央公民館で行い、町内各企業や団体の代表者など約二百名が参加しました。

佐藤町長、大沼町議会議長が年頭のあいさつを述べ、昨年を振り返るとともに新年の抱負が語られました。また、新春を祝う合唱として



▲グリーンコーラスの皆さん

グリーンコーラスによる、「荒城の月」や「花は咲く」など四曲が披露され、新春の幕開けに華を添えました。

参加された方々は新春のあいさつを交わしながら、親睦を深めるとともに、新年の飛躍を誓っていました。



▲太田町議会議長による万歳三唱でさらなる発展を願いました



社

会を明るくする運動

標語入賞者表彰式

一月二十日、平成二十七年
度社会を明るくする運動標語
入賞者の表彰式が行われまし
た。

この運動は、罪を犯した人
の立ち直りを支え、地域ぐる
みで犯罪や非行のない明るい
社会を築くことを目的に全国
的に実施されています。

村田町では、町内の中学生
を対象に標語の募集を行い二
百十八点の応募があり、その
中から十作品が入選しまし
た。

表彰式では佐藤町長から受
賞者一人一人に表彰状と記念
品が手渡されました。
入賞者は次のとおりです。

- ・第一中学校一年鳥島 優杏
『どうしたの そのひとこと
であたたまる』
- ・第一中学校一年錦織 桃香
『あいさつで笑顔あふれる
地域の輪』

- ・第一中学校二年庄司 陸人
『勇気だし手をさしのべよ
う自分から』
- ・第一中学校二年渡辺優里香
『悩みはね 心にとめず
はなそうよ』

- ・第一中学校二年水戸 海斗
『笑顔はね 明るい未来の
第一歩』

- ・第一中学校二年関 優香
『死ね』『うざい』 言葉の
暴力 やめようよ』

- ・第一中学校三年衣笠 真耶
『犯罪は 自分の未来 こ
わすもの』
- ・第二中学校三年門馬みずほ
『こんにちは 笑顔で広が
る 仲間の輪』

- ・第二中学校三年小原亜未衣
『あやまちに 気づく勇気
と やめる意志』
- ・第二中学校三年佐藤 美那
『考えよう 相手の気持ち
と 先のこと』

善意の寄附

善意の寄附に心より感謝いたし
ます。

高田 佳子 様

子ども向け音楽教本

「アルコ」百冊（十二万円相当）

ふるさと納税寄附金を頂きました。

（氏名等掲載の了承があった方の
み掲載しております。）

●金十万円

【宮城県】

星井 理賢様

●金五万円

【宮城県】

松川 弘様

【千葉県】

岩本 智子様

●金三万円

【千葉県】

佐竹 智宏様

【東京都】

谷口 弥幸様

【神奈川県】

吉野 茂様

●金一万五千元

【東京都】

篠田 左知子様

●金一万円

【宮城県】

福島 典之様

【茨城県】

有賀 利夫様

【千葉県】

海老原 潤一様

【埼玉県】

寺田 亨様、牧野 陽一様

【東京都】

相原 京子様、植田 貴之様、

川野 弘嗣様、佐藤 大輔様、

菅原 章様、角田 修一様、

森 伸一様

【神奈川県】

吉田 浩雄様

【長野県】

高澤 真一様

【静岡県】

佐藤 啓様

【愛知県】

伊藤 政己様、菊地 正人様

【大阪府】

寺井 俊二様

【兵庫県】

柏原 宏光様

【福岡県】

出良 心一様

【熊本県】

藤井 績様

村田町への応援ありがとうございます
でした。

ふれあいひろば

「らくがきコーナー」は、黒色のサインペンや万年筆を使って、はっきりと描いてください。(ペンネームだけでなく、住所や氏名、行政区もきちんと書いてね。)
「町民文芸」も募集中です。初投稿の方も大歓迎です！
※投稿作品が多い場合や投稿内容によっては、総務課で掲載作品を選ばせていただきます。

このページは、町民の皆さんがつくるページです。 口連絡先/総務課 総務班 ☎83-2111

(町民文芸)

俳句

真赤にて我が家の紅葉素晴らしい
ほっとする独りの時間大切に
干し柿やカラスと二人にらめっこ
大友 美恵子

北風に曝す岩肌震えけり
年の瀬やべんけいの魚煤塗れ
蒼穹や雪吊り天に届きけり
鈴木 恵子

雪かきに動かぬ手足老いを看る
しんしんと薄氷川面小鮒消え
小林 光正

川柳

蓮根を煮てふと気づく誕生日
後藤 信夫

コーヒーをのむときなぜか小指立つ
蕪田 伶

モンゴルへ特訓に行く国技かな
タケマロ

まだやれる 新年会じゃ 旧暦だ
如風

女子高生 寒さに負けず からっ脛
脚生子

かばねやみ これぞ発明の力なり
エジソンの母

ラグビーもキックは仏に祈るらし
合掌丸



プレゼントがもらえるよ

(らくがきコーナー)



▲P.N地球人(本町)

広告

満期を過ぎた郵便貯金や簡易生命保険はありませんか。

郵政民営化(平成19年10月1日)より前に郵便局にお預けいただいた定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は、法律の規定により、**満期後20年2か月経つとお客様の権利が消滅し、払い戻しが受けられなくなります。**払い戻しのお手続きはお早めにお願いたします。また簡易生命保険の満期日も、お確かめください。



ご家族にもご確認ください。

【お問い合わせ先】

郵便貯金 郵便局の窓口、ゆうちょ銀行店舗
または ゆうちょコールセンター(0120-108420)
簡易生命保険 郵便局の窓口
または かんぽコールセンター(0120-552-950)

独立行政法人
郵便貯金・簡易生命保険管理機構
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1
電話 03-5472-7101



次号の対象となるのは、平成27年2月、3月生まれのお子さまです。掲載を希望する場合は、1か月以内に撮影した写真と掲載依頼書を保健センターの「1歳児お誕生相談」または、3月4日(金)までに総務課へお持ちください。

お問合せ

〈自宅での撮影、掲載について〉 総務課 総務班 ☎83-2111
〈1歳児 お誕生相談について〉 保健センター ☎83-2312



おおみや はづき
大宮 珀月ちゃん

(保護者：博昭・成美) 足立西
●珀月お誕生日おめでとう！元気に育ってくれてありがとうございます。みんな珀月の事が大好きだよ。
(家族みんなより)



たんの そうた
丹野 蒼太くん

(保護者：丹三・玲子) 荒町
●1歳の誕生日おめでとう★お姉ちゃんに負けないくらいたくましく育ってね◎
(家族のみんなより)



せき はると
関 晴心くん

(保護者：夏美) 小泉東
●1歳のお誕生日おめでとう。これからも元気に大きくなってね。
(家族みんなより)



むらかみ あいき
村上 愛輝くん

(保護者：重幸・真紀) 沼田
●これからもいっぱいあそぼうね。(あこより)



にへい あや
二瓶 彩ちゃん

(保護者：真弥・千恵) 千塚
●お誕生日おめでとう!!お兄ちゃんお姉ちゃん達と沢山遊んで元気に大きくなってネ♡♡♡
(家族みんなより)

むし歯 ゼロの子

12月24日に行われた3歳6か月児健診で、むし歯がゼロだったみんなを紹介します。これからも歯を大切にしようね！

“むし歯ゼロの子”には、むし歯の治療が完了しているお子さんも含みます。むし歯予防も大切ですが、定期的に歯科健診を受け、お口の中の状態を知ること大切です。むし歯ができてしまったら、早期に治療しましょう。

これからも歯を大切にしようね！



木村 鳳助くん
(千塚)



渡邊知葉菜ちゃん
(本郷)



菊地 莉代ちゃん
(石生)



村上 夏旺くん
(本町)



佐藤 功騎くん
(本町)



田中 統磨くん
(足立西)



中川 望結ちゃん
(荒町)



阪本 伶奈ちゃん
(薄木)



池田 小花ちゃん
(千塚)



高山就暉空くん
(本郷)